



大村小学校 学校だより  
R3.12.1(水) 第21号  
校長 中嶋 邦治

**シュガーロードってご存じ？** 鎖国をしていた江戸時代、砂糖は貴重品でした。出島に荷揚げされた砂糖は、長崎街道を通り京や大坂、江戸へ運ばれました。そのため長崎街道は砂糖の道「シュガーロード」と呼ばれるのだそうです。街道沿いの町には、砂糖と一緒に砂糖をふんだんに使った外国の食文化も伝わり、長崎（カステラ）、諫早（おこし）、嬉野（あめがた）、小城（ようかん）、佐賀（丸ボーロ）北九州（金平糖）のように名産品が数多く誕生しました。



## 大村寿司もその1つ

大村寿司は、その昔、戦いに勝利したお祝いに出されたのが始まりとされています。新鮮な魚の切り身やみじん切りした野菜などを、甘酸っぱく味付けしたご飯の上に乗せて押しつけて作ります。

**シュガーロード連絡協議会** シュガーロードの歴史と文化を生かし、西九州一地域の活性化を目指して、2008年長崎街道シュガーロード連絡協議会が発足。現在8市（長崎、諫早、大村、嬉野、小城、佐賀、飯塚、北九州）が加入し情報の交換やPR活動を行っています。令和2年6月「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」として文化庁の日本遺産に認定されました。

## 6年生が挑戦・・・11月29日（月）学級ごとに寿司作り体験

大村市観光振興課では、シュガーロードの歴史や文化を伝える取り組みの一環として、市内小中学校で講話と大村寿司作り体験を計画。本校に相談があったので、郷土理解学習のいい機会ととらえ、6年生の総合学習で実施することとしました。



**結構準備が大変なんです** 指導してくださったのは、12名の食生活改善推進協議会の皆様。朝8時から下ごしらえを始め、その間子供たちは大村市文化振興課学芸員の山下さんから大村寿司の歴史とシュガーロードについて講話を聞きました。その後学級ごとに3回の大村寿司作り。

写真は錦糸玉子をまぶしている様子。「うわーきれい！」思わず歓声が漏れ聞こえます。「もろぶた」という名前を聞くのも、使うのも・・・もちろんできあがったお寿司を四角に切るのも初めての体験です。

翌日子供たちに感想を聞きました。「初めて食べておいしかった」「今度は専門店で食べてみたい」「錦糸玉子がきれいでおいしい」「しいたけがジューシー、でんぶが甘い」それぞれに大村の郷土料理を堪能したようです。食生活改善推進協議会では、他にも「にごみ」「ピーナッツ豆腐」「つきあげ」など大村ならではの食文化の普及に努めているそうです。

食生活改善推進委員の皆様と学芸員さんのおかげで、楽しく、おいしく、深く大村を学ぶことができました。ありがとうございました。

